

信州医療機器事業化開発センターについて

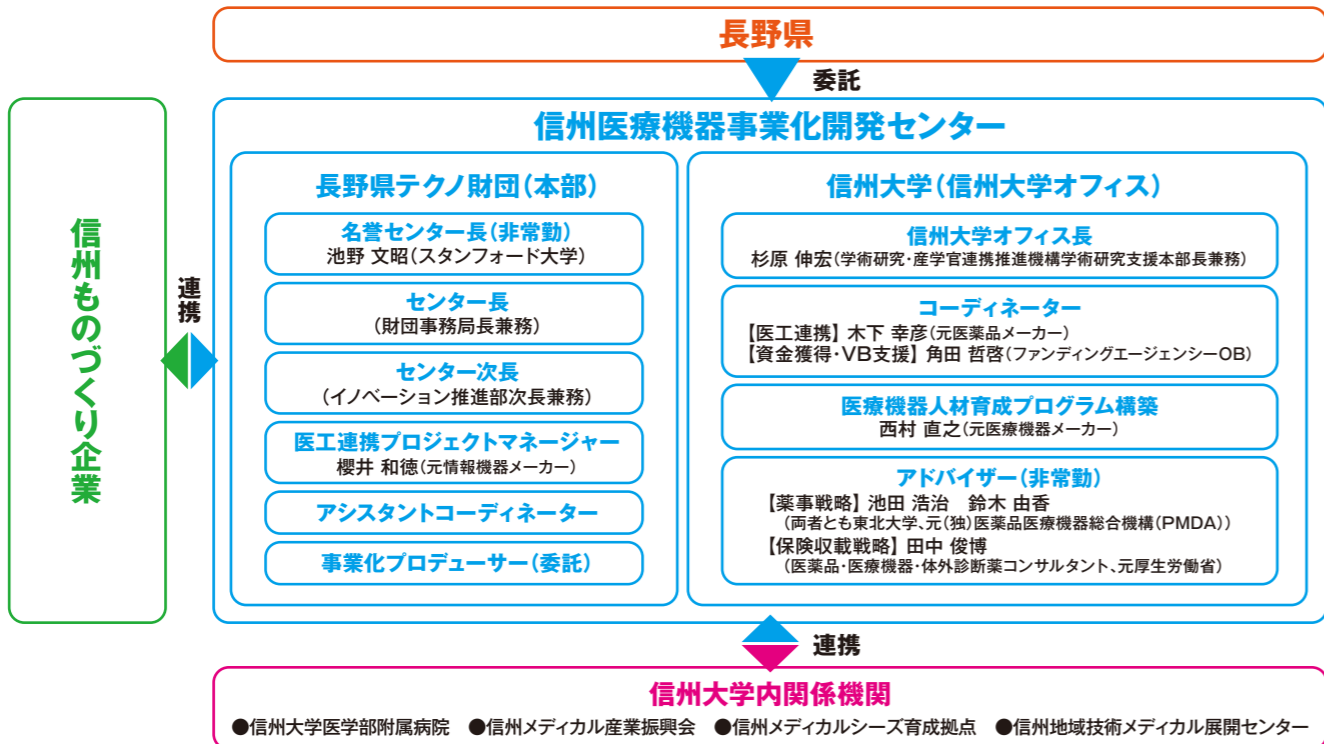
長野県が策定した「長野県医療機器産業振興ビジョン」に基づき、県内企業による医療機器等の開発・事業化を促進

活動内容

- 法規制等の専門的講習会 ●企業・医療機関・大学等からの開発ニーズ・シーズ探索
- 医療機器等開発相談 ●医療機器の試作・試験等への補助金支援
- 薬事承認や保険収載戦略へのアドバイス ●研究開発資金獲得支援、医療系VB支援
- 医療機器メーカーとのビジネスマッチング

組織概要

医療現場のニーズ把握、医療機器特有の法規制及び販路開拓など、医療機器の開発・事業化において山積する様々な課題に対して高度な専門人材が開発の初期段階から事業化、そして改良までを一貫して支援し、技術力のある企業の開発・事業化を促進します



信州の誇り「ものづくり」を医療へ

お問い合わせ



信州医療機器事業化開発センター本部
〒380-0928 長野市若里1-18-1
長野県工業技術総合センター3F(公益財団法人 長野県テクノ財団)
TEL:026-226-8101 FAX:026-226-8838
E-mail:me-techno@tech.or.jp
URL:https://www.tech-smdc.org/



信州医療機器事業化開発センター信州大学オフィス
〒390-8621 松本市旭3-1-1
国立大学法人信州大学 信州地域技術メディカル展開センター内
TEL:0263-37-3446 FAX: 0263-37-3425

信州医療機器事業化開発センター

医療機器分野でのシリコンバレーを目指して

「長野県医療機器産業振興ビジョン」に基づき当センターでは、医療機器等の開発・事業化を目指す県内企業を総合的にサポートし、医療機器関連産業の発展に貢献してまいります

7つの主要事業と「アイディアプラス」で、医療機器等の開発・事業化をサポートします。

豊富なメディカル系ネットワークにより、専門人材を配置しアドバイスをを行います

信州の誇り「ものづくり」を医療へ

長野県の基幹産業である製造業は主に加工・組立型が多く、その独自技術は世界に誇れるものがあります。その超精密加工技術は、今、医療機器分野への展開が期待されています。

7つの主要事業概要

当センターでは、ニッチトップ型企業のさらなる成長に向けて、豊富な専門人材を布陣し、ニーズ提供から開発、事業化までをワントップで支援いたします

ニーズ探索
医療機関との
ニーズマッチング支援

信州医療機器事業化開発センターのコーディネータがニーズ探索の基本となる医療従事者や患者に係る実際の様子をビデオ撮影しながら観察し、直面している困難や技術的に制限されていることを県内ものづくり企業に提供することで、医療現場の課題解決に資する新たな医療機器等の開発・改良につなげるきっかけづくりを支援しています。

共同研究
共同研究開発交流
支援

医療機器メーカーとして実績のある企業は既に医療機器の開発や事業化に係る経験があるため、臨床ニーズを把握し、製品デザインに長けた設計開発ができるノウハウを持っています。そのため、医療機器メーカーの開発部門に携わる技術者・研究者・設計者等に県内ものづくり企業の優れた要素技術を売り込み、互いの強みを融合し、医療現場の課題解決に資する革新的な医療機器の共同研究開発のきっかけづくりを支援しています。

総合相談
医療機器等開発
相談支援

開発製品の材料選択や試験方法、医療機器の該当性、クラス分類や一般的名称の妥当性など、医療機器開発における企業の様々な問題・課題等を総合的にアドバイスできる専門人材をアドバイザーとして登録し、開発ステージから上市そして改良までを一貫して相談支援しています。

資金支援
医療機器事業化
開発促進

医療機器製造販売業者やものづくり企業の優れた技術を活用し、医療機関や介護・福祉施設等の現場が抱える課題の解決に資する新たな医療機器開発を促進するため、事業化に向けた取り組みを行う際に必要となる試作機の製作、非臨床試験、治験等の一部費用を補助することで、医療・ヘルスケア産業分野への新規参入及び事業規模の拡大を支援しています。

薬事相談
薬事相談支援

医療機器を開発していく上で大きな関門である薬事承認や保険収載に係る案件を専門人材が指導・アドバイスしています。

人材育成
医療機器人材の
育成プログラムの構築

医療機器開発においてリーダーとなりうる人材を育成するため、創業や新規事業立ち上げに向けた基礎知識や開発手法を学べる医療機器開発・経営人材育成プログラムを構築します。

コーディネート
医工連携
コーディネート

医療現場のニーズに応える機器開発・事業化を推進するため、県内ものづくり企業と医療機器製造販売業者や医療機関とのマッチング支援を行うとともに、医療機器の開発初期段階から事業化に至るまでの切れ目ない支援をコーディネートしています。

医療現場から開発企業にニーズを橋渡し

アイディアプラス

医療機器開発に関して日頃感じている課題やニーズをメール等でお寄せください

- こんな医療機器があれば便利なのに
- 医療現場よりの使いやすい医療機器があればより良い診察・治療ができるのに…



医療関係者

- 医療機器の開発に挑戦してみたいけど、どんなものが売れるかさっぱりわからない
- 既存技術の応用で、医療機器が開発できるはずなんだけどな…



開発ものづくり企業

医療関係者が日ごろ感じている現場の課題や悩みをお寄せいただき、医療機器産業に参入する企業を支援するコーディネータ等に広く知ってもらうことを目的としています。ニーズに基づく医療機器開発を進めることで、医療現場の課題解決につながります。

●医療現場のニーズ募集

●寄せられたニーズの見極め

●ニーズに基づく医療機器を開発



医療関係者



コーディネートマネージャー
コーディネーター
アドバイザー



ものづくり企業

医療現場の課題解決へ

アイディアボックスを活用することで期待できる効果

- ①医療現場ニーズの課題解決を求めている医療関係者にとっては、課題解決につながる医療機器を開発するものづくり企業を見いだすことが容易になります。
- ②医療関係者にとっても医療機器開発に関われる機会になります。

アイディアボックスに集められたニーズはコーディネータやアドバイザー等が見極め、新たな医療機器等の開発につながるよう県内ものづくり企業に提供していきます

Advisers

医療機器等の開発・事業化における様々な問題・課題に対してその分野の専門家が積極的にサポートします

医療機器開発のプロセスごとに専門的知識を持ったアドバイザーが伴走支援

薬事承認や保険収載に係る豊富な経験を有するアドバイザーが指導・助言

【事業開発】 医療機器の開発、マーケティング
企業における事業開発

池田 浩治 氏
東北大学病院臨床研究推進センター
開発推進部門長 / 特任教授
(独)医薬品医療機器総合機構医療機器審査部審査役代理を経て現在に至る。2017年から副センター長を兼務。

【安全対策】 医用電気機器の安全性評価 / リスクマネジメント / 電磁妨害 / ユーザビリティ / アラームシステム
ソフトウェア

鈴木 由香 氏
東北大学病院臨床研究推進センター
国際部門長 / 特任教授
厚生労働省国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター審査官、(独)医薬品医療機器総合機構医療機器審査部長、先駆け審査業務調整役を経て現在に至る。

【生産管理】 医療機器製造に関する生産設備(自動機、手作業)の開発、設計 / 医療機器製造業許可取得に伴う外部移管業務 / 工場全体の生産活動の生産性向上 / 5S、TPM活動の推進

田中 俊博 氏
医薬品・医療機器
・体外診断薬コンサルタント
/ 信州大学 特任教授
元厚生労働省及び(独)医薬品医療機器総合機構、厚生労働省では保険収載を管轄する経済課主査(医療機器関連)や医療機器審査管理室医療機器指導官等、(独)医薬品医療機器総合機構では医療機器審査第三部審査役等を歴任し、関係機関も含め計17年間の勤務の後、2015年から現職。

●各分野に精通した経験豊富なアドバイザーが相談対応いたします